

尾花沢市の部活動改革の取組み

自治体の現状と課題

- ・人口減少等の地域全体の課題は……。
年少人口の減少が続いている、学校統合を推進している。
- 学校部活動の継続困難と生徒のニーズに対応できない
- ・地域移行の取組の現状は……。
部活動の任意加入制度の導入
部活動の休日活動の地域移行を実施
・地域移行進めるまでの課題は……。
移動手段の確保（バス運行）と受益者負担による保護者負担の増

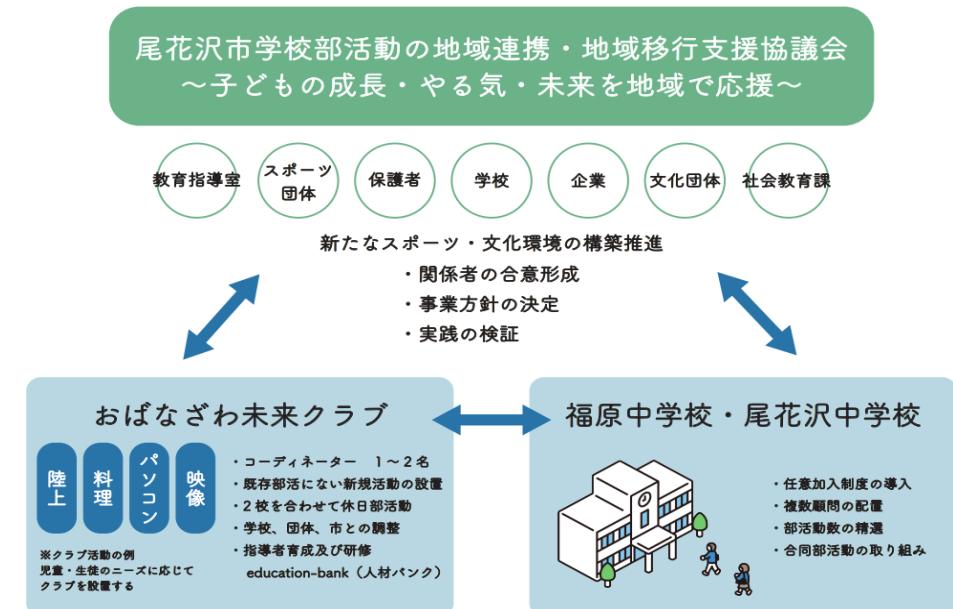
地域クラブ活動等の概要

中学校数	2校	全生徒数	290人
域内の部活動数	12部	実施した地域クラブ数	15クラブ
全体の指導者数	44人	全体の運営スタッフ数	45人
主な運営団体	おばなざわ未来クラブ（教育委員会設立）、保護者運営団体、スポーツ少年団、クラブチーム		
主な種目	軟式野球、バレーボール、陸上、ハンドボールほか6競技		
平均的な活動回数	3回/月 (休日活動のみ)	年間平均参加生徒実数	3年：5人/クラブ 2年：4人/クラブ 1年：3人/クラブ
参加会費	1・2年5,000円/年 3年 3,000円/年	主な活動場所	市内公共施設 中学校

地域展開関連の取組・成果

- ①市内2校にある全ての部活動で休日活動の地域移行を実施
・令和6年度から完全移行となった。支援を継続している。
- ②指導者研修会を年2回実施し、生徒の安全な活動を推進
・消防本部、隊員の協力を得て安全講習、大学教員による研修を実施
- ③行政支援として、休日活動の施設確保、スクールバス運行、保険加入、部活動地域移行コーディネーターの配置を実施

運営体制図・ロードマップ (自治体独自)



尾花沢市の部活動改革の取組み

活動の様子

